

熊大通信

Kumamoto University
Campus Magazine
vol.89 2023 SUMMER

[特集Ⅰ]

シン・ 熊本大学

～熊本大学イニシアティブ2030～

[特集Ⅱ]

熊大のキャンパスライフ
～新入生サポーターに聞いてみた～



- 02 未来を拓くSDGs 熊大発!分裂酵母ジャポニカス世界へ。
- 03 特集I シン・熊本大学
～熊本大学イニシアティブ2030～
- 11 知のseeds 研究室探訪 データサイエンスの技術をフル活用して薬の効き方や病気の発症を予測
- 13 未来への羅針盤 昭和6年の天覧標本
- 14 特集II 熊大のキャンパスライフ
～新入生サポーターに聞いてみた～
- 17 卒業生ジャーナル
- 19 KUMADAI TOPICS
- 22 熊本大学基金よりお知らせ
- 23 キャンパス ミュージアム散策 いまだ何者でもない
北里柴三郎に出会う

[発行] 国立大学法人 熊本大学
〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1
【総務部総務課広報戦略室】
Tel.096-342-3119 Fax.096-342-3110
sos-koho@jimu.kumamoto-u.ac.jp

[編集] 熊大通信編集委員会
首藤 剛 / 委員長 広報担当副理事(大学院生命科学研究部(薬学系)准教授)
宮尾千加子 / 理事(非常勤/広報・ブランディング・行政連携担当)
松岡 浩史 / 大学院人文社会科学部(文学系)准教授
松永 拓己 / 大学院教育学研究科美術科教育 教授
濱田 絵美 / 大学院人文社会科学部(法学系)准教授
小出 眞路 / 大学院先端科学研究部(理学系)教授
佐藤あゆみ / 大学院先端科学研究部(工学系)准教授
中村 五月 / 大学院生命科学研究部(保健学系)准教授
倉内 祐樹 / 大学院生命科学研究部(薬学系)准教授
濱洲 里美 / 総務部総務課副課長(広報戦略室長)

[制作] 株式会社カラズプランニング

*取材にあたっては、基本的な感染防止策をとった上で実施し、撮影時のみマスクを外しています。
*記載の職名・学年等は、取材時のものです。



未来を拓くSDGs

育種開発した「分裂酵母」を使い、企業と協働で吟醸香が薫る芋焼酎やクラフトビールの開発に成功した谷 時雄研究室。分裂酵母を用いた醸造酒ならではの“機能性”に着目した新たな研究が進んでいます。

「分裂酵母ジャポニカス」の育種株を用いた醸造酒には、「出芽酵母酒」よりもコハク酸が10倍以上多く含まれている点に着目。シジミのうま味成分でもあるコハク酸は、肥満予防などの作用があると注目され

ています。「他にも、抗酸化作用やコレステロール低下作用のあるケルセチンや、美肌効果がある酸化型グルタチオンなどが多く含まれており、『分裂酵母酒』の優れた機能性を追求しています」と語る谷先生。

また、地域の植物や農産物に含まれる酵母の「酵母ライブラリー」構想も。研究室では熊本城や学内に生育するイチヨウの実や、県産の農産物などから採取した酵母を培養しています。「ローカル酵母を使って、酒や食品などのオリジナル商品を作り、地域の活力につなげたい」。

クラフトビールに使用した「分裂酵母 Kumadai-M42株」の開発や酵母培養に取り組む博士前期課程2年の武市将義さん(写真中央)は「実験中にプレートからすばらしい吟醸香が立ち上ってきて興奮しました。分裂酵母の可能性に迫りたい」と話します。

酵母は果物や植物など自然界のあらゆるものに生息する身近な存在。「酵母の力で地域の価値を再発見・創造し、世界に発信したい」と、谷先生の視点は世界を見据えています。

熊大発！分裂酵母ジャポニカス

世界へ。

本紙21ページで、クラフトビール情報をご紹介します



熊本大学大学院先端科学研究部附属
生物環境農学国際研究センター
谷 時雄 特任教授 Tokio TANI

九州大学理学部助教授、熊本大学理学部大学院先端科学研究部教授などを経て現職。2023年4月から放送大学熊本学習センター所長

シン・ 熊本大学

～熊本大学イニシアティブ2030～

地球規模で進むデジタルイノベーションや新型コロナウイルス感染拡大等により変容した社会情勢など、ニューノーマル時代*が到来しています。新しい時代の課題を解決する人材の育成と研究の推進が大学に求められる中、熊本大学では「熊本大学イニシアティブ2030」を策定。社会変革の原動力になる取り組みをスタートさせています。

*社会の大きな変革により新たな常識が生まれ、定着すること

One Teamで新たな課題に挑戦

貧困や紛争、気候変動など、人類が直面しているさまざまな課題を解決し、誰一人取り残さない社会を実現するため、国連総会では、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals:SDGs)を採択しました。

熊本大学では、SDGsが掲げる17のゴールと169のターゲットの達成および“地域と世界に開かれ、共創を通じて社会に貢献する教育研究拠点大学”の実現に向けて、

2022(令和4)年、「熊本大学イニシアティブ2030」(以下、熊大イニシアティブ)を策定しました。

この熊大イニシアティブでは、「教育」「研究」「社会との共創・医療」の3つを柱として掲げ、大学全体がOne Teamとなって取り組んでいます。

今回の特集では、熊大イニシアティブ策定に込められた思い、それを実践する人々の熱意など、2030年に向けた「シン・熊本大学」の姿をご紹介します。



01

responsible party

熊本大学 理事・副学長
(大学改革・評価担当)

富澤 一仁
Kazuhito TOMIZAWA

Profile
2008(平成20)年より熊本大学教授。
熊本大学大学院生命科学研究部長などを
経て、2021(令和3)年より現職。



02

public relations

熊本大学 理事(非常勤)
(広報・ブランディング・行政連携担当)

宮尾 千加子
Chikako MIYAO

Profile
元熊本県職員。くまモンのプロモーション
担当の初代くまもとブランド推進課長、熊本
県教育長、熊本県立美術館長などを経て、
2021(令和3)年より現職。

異分野融合とダイバーシティ 新たな変革を象徴

国連が提唱する2030年SDGs達成に、
私たちは地球人として何ができるのか？—
「熊本大学SDGs宣言」をしたことをきっかけ
に、さらに上を目指していこうと策定した計画
が「熊本大学イニシアティブ2030」です。

昨年、SDGsの枠組みを用いて大学の社会
貢献の取り組みを可視化する「THE*イン
パクトランキング2023」で、本学は総合ラ
ンキングで国内同列9位にランクインする
ほど、学内一丸となってSDGsの推進に取り
組んできました。

ビジョンの実現に向けて、熊大イニシア
ティブで掲げた三つの柱は、「教育」「研究」
「社会との共創・医療」。「教育」では、「グロ
ーバル人材」を育成するため、言語教育だけ
なく、留学支援など、世界で活躍できる人材
の育成に尽力しています。

また、「DX人材」の育成を目指して、教養
教育で全学生がデジタル教育を受けている
ほか、2024年度には学部相当の「情報融
合学環」を新設するなど、データサイエンス
を扱う文理融合の教育・研究をさらに推進
していきます。

「研究」では、従来の学部や分野の壁を越
えた「異分野融合の連携」がテーマといえる

でしょう。多様な人材が集まって研究が進
み「ダイバーシティの実現」へとつながることを
期待しています。

そして、「社会との共創・医療」では、熊本
に根差す先端研究と人材育成の拠点として、
地域と連携して課題解決に取り組むことが
大切です。

「イニシアティブ」とは、主導権や率先して
実践することを表す言葉です。熊本大学の
学生や研究者には、自ら考え、実践していく
チカラがあります。その自発的な取り組みの
一つが「Kumadai-Hub^{クマダイハブ}」という若手研究者・
学生の主体的な集まりです(P9-10参照)。
さまざまな学部から研究者や大学院生が集
まり、肩書を忘れて自由にディスカッション
を繰り広げるその取り組みは、ダイバーシ
ティそのもの。垣根を越えたつながりから新
しい研究も生まれています。

熊大イニシアティブは、熊本大学の至心。
教職員だけが目指すものではありません。
学生の皆さん、そしてこれから本学を目指す
方々もSDGsを実現して、ともに熊本大学を
発展させていきましょう。

*THE(Times Higher Education)・・・イギリスの高等教育専門誌

社会の中の熊本大学 魅せる！生きた情報発信

3つのキーワード

- ・常に情報を発信し続ける大学
- ・常に外から見える大学
- ・常に外からの声に耳を傾け、
発展し続ける大学

「熊本大学イニシアティブ2030」の目標
達成のために、新たな広報戦略で大学の生
きた情報を発信し続けることが必要だと考
えられ、3つのキーワードが掲げられました。
開かれた大学やSDGs、グローバル化をより
明確に分かりやすく表した言葉で広く伝え、
大学自らが発信力を高め、外部に響くよう
な情報を常に発信し続けるという姿勢を学
内外に示すことにもつながります。

大学も地域の一員。研究や教育に力を注
ぐように、社会との共創や連携にも力を入
れ、「社会の中の熊大」という意識を常に持
ち、社会の課題解決に取り組んでいくこと
が大切だと思っています。

熊本大学では、地球規模や世界レベル
の課題から、社会の声の届きにくい方々の
課題まで、そのニーズに応える研究や取り
組みを進めています。それこそ、ダイバーシ
ティの推進に資するSDGsの取り組みだと

考えています。

熊本大学は人材の宝庫。世界を舞台に
活躍する研究者や、学生たちの自発的な研
究・活動の成果などを発信しない手はあり
ません。「教職員も、学生も、一人ひとりが発
信者」—学術論文はもとよりSNS等で積
極的に社会へ発信し、内外に開いていくこ
とが、社会に愛され、認知度も高まるカギだ
といえるでしょう。

現在、私たちが推進しているのが「熊本
大学キャンパスミュージアム構想」。長い歴
史を刻む文化財や研究の成果をこれまで
以上に一般に公開し、より親しんでいただ
くために、「魅せる広報、魅せる施設」を模
索しているところです。

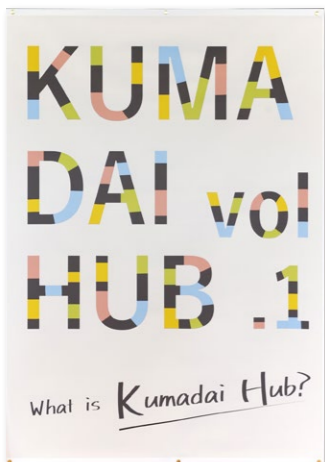
「熊大通信」も広報の一翼を担うツールの
一つ。「魅せる熊大通信」として、生きた情
報発信をと期待しています。



全教職員に配付した「熊本大学イニシア
ティブ2030」手帳。手元に置いて、取り組みへ
の意識向上を目指す



4月1日付けて、半導体研究や高度人材の育
成を目指す新しい組織「半導体・デジタル研
究教育機構」を発足



「Kumadai-Hub」では第2回ポスター発表を
開催。若手研究者や学生に研究発表の新た
な場を創出している



「知の遊びと学びの空間」である大学を広く
共有しようと「熊本大学キャンパスミュージ
アム」の散策マップを作成



「五高記念館」などの歴史的建造物を活用
し、ミニコンサート等のイベントを企画した
いと宮尾理事は語る



熊本大学では、肥後熊本藩主・細川家ゆか
りの古文書など、歴史資料群の調査・研究
を推進

03

“SHIN” editorial board

新たな広報のカタチを 織り成す研究者たち

熊本大学の広報誌を作り上げているのは、
熊大通信編集委員会のメンバーである研究者たち—。
「熊本大学イニシアティブ2030」を実現するために
欠かすことのできない新たな広報のカタチ
“シン・熊大通信”を発信していく
研究者たちの思いをご紹介します。



*編集委員の一人、宮尾 千加子理事のインタビューは6ページに掲載

「熊大通信」は89号を機にリニューアル！新たな広報展開を目指します。

「熊本大学イニシアティブ2030」の柱である「研究」「教育」「社会との共創・医療」に関する特集企画に加えて、学生たちが自らカメラを持ち、研究室とその研究を分かりやすく紹介する動画コンテンツや、熊本大学キャンパスミュージアムを舞台に描くアート作品などを交え、盛りだくさんにお届けします。乞うご期待！

熊大通信編集委員会委員長
熊本大学副理事(広報担当)
大学院 生命科学研究部
(薬学系) 准教授



首藤 剛
Tsuyoshi SHUTO

運を運びたいれば足を運べ。
人生無駄なことは何一つない。

Research — 有用植物等の天然資源から、薬や食品などの開発へとつながる研究を実施中。Cエレガンスという線虫を活用した新しい発想の実験技術(C-HAS)を確立。社会実装に向けた大学発ベンチャーを設立し、大学と企業の二足のわらじで邁進中。

Value — 自分が世界で初めて見つけた現象に遭遇した時のワクワク感は研究者の醍醐味。自分の強みと他の研究者の強みが交わることで起こる化学反応が、全く新しい研究成果を生み出す時、楽しさは最高潮に。次世代を担う人財育成につながる点も大学教員冥利に尽きます。

教職員・学生がOne Teamとなり、持続可能な社会の形成(SDGs)に貢献しうる研究・教育の成果を、社会全体に見える化したい。また、アントレプレナー(起業家精神)とダイバーシティ(多様な人材を活かす戦略)に強いオンリーワンの大学となるように取り組んでいきます。

POINT 熊大生の皆さん、目指せ健康長寿！
前向きな心で希望とときめきを
忘れずに！

大学院 人文社会科学
研究部(文学系) 准教授
松岡 浩史
Hiroshi MATSUOKA



“If you hit a wall, climb over it, crawl under it, or dance on top of it.” (anonymous)

Research — 専門はルネサンス魔術と魔女狩りて、おまけにシェイクスピアを研究しています。所変われば品変わるではありませんが、シェイクスピアの劇世界で起こる出来事は今日の文化・社会制度とは全く異なる背景から生まれています。シェイクスピア時代の王国相続制度や階級制度、結婚制度など、同時代の文化・社会的背景からシェイクスピア劇の面白さを研究しています。

Value — 家族が寝静まった真夜中に魔術文獻を読んでいると活力が湧いてきます。

シェイクスピアは400年以上前の劇作家ですが、扱っているテーマは、老人問題、不妊問題、心の病、人種差別、帝国主義、プロパガンダ、などなど、極めて現代性を持った問題です。社会が生み出す人間の欲望と不安とはなにか。2030年の私も同じ問題意識を持っているはずですよ。

POINT どのような世の中でも
生きていける知を身につけよう！

大学院 教育学研究科
美術科教育 教授
松永 拓己
Takumi MATSUNAGA



絵になる景色をつくる。

Research — アーティストです。絵を描き、社会に役立つことを考えています。

Value — 芸術が人々の生活に届いた瞬間の喜び。芸術が人の生き方に役立ち、幸福度を醸成することを目標に、未来志向で取り組んでいます。それが心の豊かさ、励ましに繋がればと願います。そのために絵を描きます。



POINT 若者は可能性の塊です。
頭を上げて、前を向いて、
楽しみな未来を描いてください。

大学院 先端科学研究部
(工学系) 准教授
佐藤 あゆみ
Ayumi SATO



これからがこれまでを決める。

Research — 私は、建築物の長寿命化に関する技術の開発研究に取り組んでいます。今後、少子高齢化に伴って新築工事が確実に減少していくなかで、既存建物をいかに長く使っていくかが重要です。

Value — 実験・解析結果が想定していた結果になった時は当然うれしいものですが、想定と全く異なった時の方が何倍もワクワクします。未知の現象に出合った時こそ、形容し難い高揚感を味わうことができます。

日本、特に九州地方では水害、火山や地震などの自然災害が多発します。九州地方の自然災害に立ち向かえる土木建築技術は、世界でも通じると確信しています。九州という地域で考えた技術を、より積極的に世界に発信できる研究者や環境が拡充していることが理想です。

POINT 熊大生の皆さん、学びも遊びも
深く追求して、濃密な学生生活を
謳歌してください。

大学院 人文社会科学
研究部(法学系) 准教授
濱田 絵美
Emi HAMADA



新しいことを知ることは面白い。

Research — 自然災害の被災者の生活再建を支援するための制度について研究。被災した個人が、被災前から負担してきた借金を減免できる、民間のガイドラインの実効性の検証とその法制度の是非など、利用現状を調査しながら検討しています。

Value — 社会で生じている法的な問題解決の判断基準について、多くの人が納得できる確かな理由付けをもって解釈・設定し、その結果、法的な困りごとを抱えている人々の役に立てたと実感できたとき、研究に取り組んでよかったと感じます。

「共創を通じて社会に貢献する」ために、熊大の取り組みを積極的に発信するほか、「中の人にとっての当たり前」に目を向け、地域活性化や社会で生じている問題解決のための魅力的な活動を紹介していきたいと考えています。

POINT 視野を広げるために、
想像力の翼を広げて。

大学院 生命科学研究部
(保健学系) 准教授
中村 五月
Satsuki NAKAMURA



亀でも前進。

Research — 認知症高齢者のケアプログラムの開発に取り組んでいます。看護専門職として、高齢者の意思に寄り添い、最期まで尊厳を保持して生活できるよう支援すること。そのために認知症高齢者をケアする人々に対する教育的支援も必要と考え研究に取り組んでいます。

Value — 「実践の中にこそ理論がある」といわれているように、今まで分からなかった現象が意味付けされたとき、衝撃が走ります。多面的な情報を基に推論・判断しながら看護実践につなげ、高齢者の思いに近づく(高齢者の望んでいたことなのだとなつた時)にはとても喜びを感じます。

高齢者が住み慣れた地域で最期まで生活できることを実現するために、地域や社会のさまざまなステークホルダーと協働し地方創生SDGsを推進したいと考えています。

POINT 「好奇心、持続性、楽観性、柔軟性、
冒険心」を持ってしなやかに
キャリアを切り拓いてください！

大学院 先端科学研究部
(理学系) 教授
小出 眞路
Shinji KOIDE

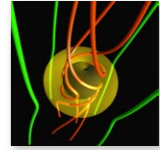


急がば回れ。

Research — プラズマ物理学の理論。大学院では核融合プラズマの研究を行いました。現在、銀河の中心にある巨大ブラックホールの近傍から噴出する高速宇宙ジェット(超光速)の形成機構の研究を中心に行っています。

Value — 長く退屈な計算の後、思いもかけない単純で興味深い結果が得られた瞬間。

巨大ブラックホール近傍から噴出している高速宇宙ジェットのプラズマ源の解明を行います。一方、今後さまざまな宇宙プラズマの挙動をヒントに新しい核融合プラズマ装置の発案を行い、核融合発電の実用化のために多くの人と共同研究を進めます。



POINT 無理と思えるものでも、
興味のある可能性(夢)に
どんどん挑戦しよう！

大学院 生命科学研究部
(薬学系) 准教授
倉内 祐樹
Yuki KURAUCHI



まずやってみる。

Research — ストレス対処能力・社会適応能力が形成されるメカニズムの研究や、気象病(気象変動が原因で生じるさまざまな疾患)を予防・治療するための研究を行っています。生体反応(脳血流、神経活動、脳波、体温、脳温、心拍など)をリアルタイムで測定する手法を開発・活用して研究を進めることで、誰もが日常生活のストレスに適切に対処できる健康な社会づくりを目指しています。

Value — 未知の現象に対峙した際、それが何を意味するのか考えている時間は最高の贅沢だと思います。

個々の強みや能力を最大限引き出すことができるチームとなり、現在・未来のさまざまな課題を予測して解決できる熊本大学を実現したい。このための研究・教育を続けて社会に発信することで、「困ったことがあれば熊大に相談」が合言葉になるといいなと思います。

POINT 貪欲に学び、考え、
チャレンジしてください！

04

the innovators

This is Diversity! This is the Kumadai-Hub!

共創を通じた社会貢献を目指す「熊本大学イニシアティブ2030」。

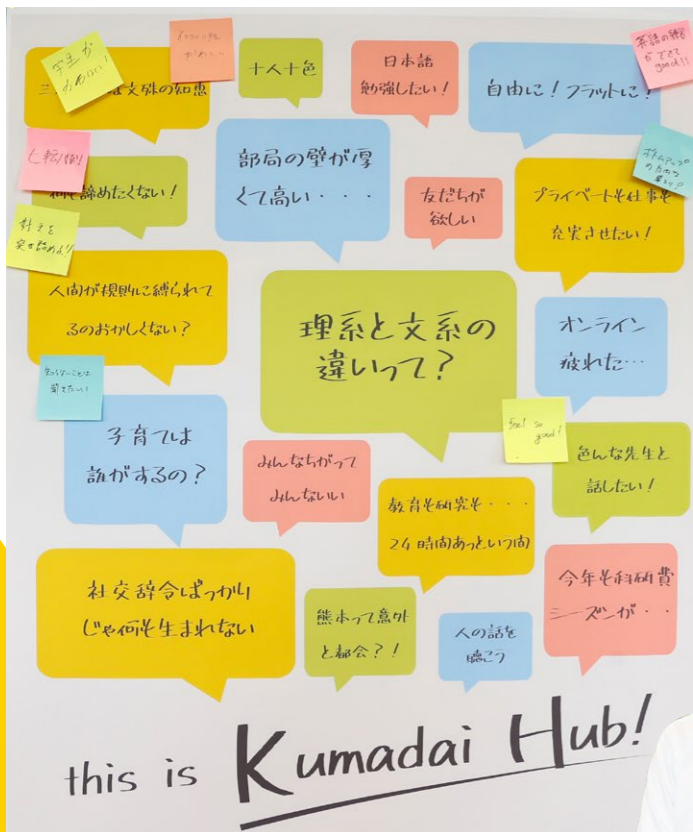
2019(令和元)年に発足した有志の教職員・学生による

自発的な集いである「Kumadai-Hub」が、学内外から注目を集めています。

4月21日に開催された「第2回Kumadai-Hub巡回ポスター展」(熊本大学工学部百周年記念館)で、

自らの研究や活動の内容について、来場者と熱く語り合うメンバーに

「Kumadai-Hub」ならではの活動の魅力について聞きました。



「Kumadai-Hub」活動の詳細はこちら



分野を越え、肩書を忘れて、誰もが自由に参加できる「Kumadai-Hub(以下、Hub)」。

誰かが主導するわけではなく、誰もが仕掛け人になれる。ミッションを作らず、ゴールも決めない。だからこそ、自由な発想でつながり、垣根を越えた研究へと広がっていき...それが最大の魅力ですね。

さまざまな学部や若手研究者がいて、熟練の教授もいる。そこに海外留学生なども加わって、多様な人々がつながり、研究を通して社会共創をなしているHubの姿は、まさにダイバーシティそのものです。

「つながろう」という前提で呼びかけると、まずはパソコンを立ち上げて相手のことを調べたりするでしょう。そうではなく、まず会って話して、相手の人となりを知り、研究について語らうような、「一人ひとりが自然体で集まる強み」がHubの原点。「熊大に生きる人間の中には、何かしら共通の思いや価値観がある。それを信じて動けば、思いがけず良いことが連鎖する」それを体現する「場」であることも意義があります。

「Kumadai-Hub」に新たな熊本大学の胎動を感じています。皆さんも気軽にHubに参加しませんか?

生命資源研究・支援センター教授

竹尾 透

Toru TAKEO



さまざまなプロフェッショナルが支えるアカデミア

Hubの活動は、オンラインツールを活用した日常的なインタラクションと定例ミーティングが基本ですが、昨年度からパブリックイベントとしてポスター展を始めました。研究者や学生が研究紹介を行うだけでなく、熊大の研究や教育を支える事務職員・技術職員による業務紹介もあります。それぞれが、腹を割ってフラットに話せる自由な場だからこそ、研究のインスピレーションが湧いたり、共同研究につながるのではないのでしょうか。コロナ禍も収まり、今回からは他大学や民間企業の方にもご参加いただきました。Hubの哲学が、広がることを期待しています。

IRCMSリサーチサポート・アソシエイト
大学院自然科学教育部工学専攻
博士後期課程2年
坂井 華海さん
Hanami SAKAI

AIを使って考古学研究!?
学部を越えた共同研究に挑戦

熊本大学に来て間もない頃、大学のことを知りたくて参加しました。ざっくりばらんなフリートークの中から「一緒にやろうよ!」と自然発生的にコラボレーションが生まれるのが、Hubの魅力です。大学院人文社会科学研究部の小畑弘己教授との共同研究では、縄文土器に含まれる種や虫を、AIを用いて分類。違う分野のことを勉強しながら、自分たちの技術を活かして取り組むことができる。いつも新しい出逢いにワクワクしています。

大学院先端科学研究部 助教
メンドンサ・イスラエル
Mendonca ISRAEL

他学部の視点で意見を聞けるのがうれしい!



ポスターの作り方発表の仕方などどれも勉強になります。



発表を通して新たな仲間ができ、ワクワクします。

大学院薬学教育部
博士前期課程1年
小笠原 長耀さん(左)
Choyo OGASAWARA
博士前期課程2年
津波古 遥希さん(中)
Haruki TSUHAKO
博士前期課程2年
鏡 明日香さん(右)
Asuka KAGAMI



身近な疑問を学問に
“文系研究の楽しさ”を伝える場

九州、特に熊本の軽自動車専用の駐車場では、なぜ「軽」ではなく「聖」という表示が多いのかというテーマで調査しています。Hubは文系の研究を理系の皆さんに知ってもらえるまたとないチャンスです。特にポスター展は一般の方や高校生も気軽に参加・質問できるので、身の回りにある素朴な疑問が研究の世界につながっていることに興味を持ってもらえるとうれしいですね。

大学院人文社会科学研究部 教授
茂木 俊伸
Toshinobu MOGI
大学院人文社会科学研究部 准教授
山下 真里
Mari YAMASHITA

熊本大学イニシアティブ2030の詳細をチェック

“地域と世界に開かれ、共創を通じて社会に貢献する教育研究拠点大学”を目指して

2030年に向けた熊本大学の取り組みをぜひ応援してください。



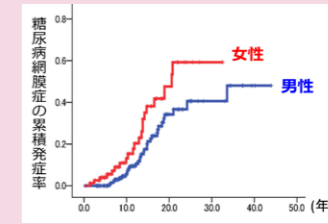
データサイエンスの技術をフル活用して 薬の効き方や病気の発症を予測



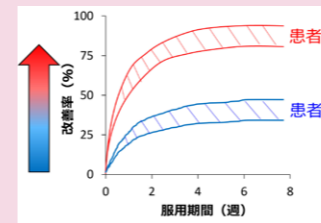
医療×薬学×情報科学の融合 個別化医療*の実現を目指す

うつ病などの心の病気、お年寄りの物忘れや運動機能の低下、糖尿病などの生活習慣病、がん等の患者さんを対象に、熊本大学病院をはじめとするさまざまな医療機関の情報を多角的に解析。例えば、うつ病の薬は効果が出るまでには約1カ月を要しますが、治療開始後早期に薬効を予測できるシステムを構築。実用化へと期待が高まります。

*個別化医療……同じ病気の患者さんに対して、一律に同じ治療を行うのではなく、個々の体質や遺伝子などを調べた結果から治療法を選ぶこと



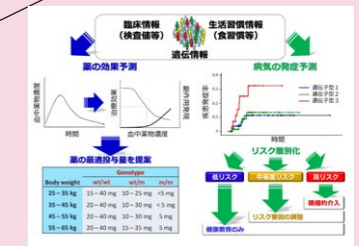
糖尿病網膜症の累積発症率を精査したところ、女性は男性よりも糖尿病による血管障害が発症しやすいことが明らかに。性差のほか、生活習慣、遺伝子情報などが発症に影響を与えていると考えられている



うつ病患者のデータを収集し、NONMEMなどで治療開始1〜2カ月後のうつ病治療薬の効果を予測。患者さんに最適な薬の投与量で、効率的な治療の提供を可能に

「薬をどのように
使うか」を探求する
学問領域

薬物治療学



遺伝子情報のほか、病気の特徴、薬の体内量、薬への感受性に加え、個々の患者背景が、大きな個人差となって治療反応性へ影響。そうした多様な情報を解析することで、個別化医療の実用化が期待される

熊本大学大学院生命科学研究部薬物治療学研究室

猿渡研究室

Saruwatari's laboratory

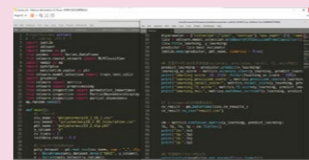
「なぜ病気になる人とならない人がいるのか？」
「なぜ人によって薬の効果が異なるのか？」
—薬物治療学でその答えを探求する
猿渡研究室を訪ねました。

猿渡 淳二 教授
Junji SARUWATARI

遺伝子情報や普段の生活習慣等、医療機関のご協力の下で提供されるさまざまなデータをAIなどで解析し、薬効や副作用の出現、病気の発症リスクなどを予測する研究に鬼木准教授や学生たちと一緒に取り組んでいます。「病気のなりやすさや薬の効きやすさ、副作用の出やすさを適切かつ正確に予測することで、患者さんの負担や不安を軽減して、すべての人が健康で豊かな生活を続けられるシステムを提供したい」と、猿渡先生は話します。

プログラミング言語「Python」

猿渡研究室では、人工知能(AI)などに活用されるプログラミング言語「Python」を用いて独自の解析プログラムを構築。薬の反応性や副作用、病気のなりやすさを予測している



薬物動態解析ソフト「NONMEM」*

非線形混合効果モデリングソフト「NONMEM」を使って、投薬前に個々に合った適切な薬の量を予測することを目標に解析を進めている

*NONMEM …… Non-linear Mixed Effect Modeling: 非線形混合効果モデリング

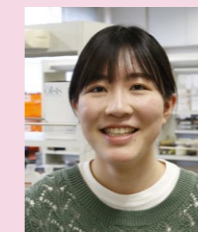


大学院薬学教育部
博士課程1年
重留 啓啓さん
Keiichi SHIGETOME

薬学研究でプログラミング初挑戦
未解明の領域を解き明かす!

AIを用いて、患者さんに必要な薬を選別するシステムの構築に挑戦しています。この研究室を選んだ理由は、薬の治療効果や副作用の現れやすさが患者さんによって異なる点に着目して研究を進めることで、患者さん一人ひとりに適した医療の提供に貢献したいと思ったからです。

研究室に入るまでは、プログラミングの経験はありませんでした。薬学研究の一環として、プログラミングに挑戦し、さまざまな角度から未解明の領域を切り拓く研究プロセスはワクワクします。



薬学部
薬学科5年
成瀬 遥佳さん
Haruka NARISE

医療現場から得る生きたデータで
知識と経験を身に付けたい

抗がん剤の副作用を予測・予防できるような、がん患者の実際のデータを用いて解析しています。

先日は学会で、抗がん剤の副作用である“しびれ”を軽減する漢方薬が、臨床でどれくらい使われているかなどを、熊本大学病院のデータをもとに解析し、ポスター発表をしました。

実際の患者さんのデータに触れる機会が多いのが魅力です。卒業後、薬剤師になって社会へ出たときに、研究室で培った経験や知識を活かしたいです。

seedsの未来

薬の効果や病気の発症を多様な情報処理で俯かんとすることで、全く新しい医薬品や医療システムの開発につなげたいと話す猿渡先生。“熊大発”の治療・予防システムを作製し、すべての人が最適な予防・治療を受けられる医療の実現を目指します。

研究室をのぞいてみよう!!

私たちが
研究室を案内
しています。
見てね♪



「熊大通信」連動
知のseeds
研究室探訪の
動画はコチラ♪



昭和6年の天覧標本

文／藤本 秀子（五高記念館）



写真：「ミシマサイコ（天覧標本）」熊本県博物館ネットワークセンター所蔵

2008(平成20)年4月、長い間、見つかっていなかった貴重な植物標本135点が、熊本県文化企画松橋蔵庫^{※1}の収藏品の中から発見された。それは「昭和6年の天覧標本」と呼ばれ、かつて熊本大学教育学部から同収蔵庫に寄贈された大量の標本の一部であった。

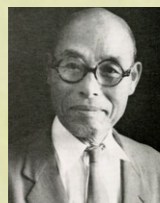
天覧とは、天皇にお見せしたということで、1931(昭和6)年に熊本で行われた陸軍特別大演習に天皇の来熊があり、それに合わせて熊本県下で博物採集と標本作製が一斉に行われ、特に優れた標本が天覧となった。発見された標本は、女子師範学校と第二高等女学校の生徒が作製したものであった。

当時、県下の小学4年生以上の児童、生徒、職員555,640人が参加して植物、動物、鉱物の採集を行い標本933,004点が作製された。専門家による同定(名前の確認など)を経て、7,519点が展示されたという。同定を行ったのは、京都帝国大学講師

田代善太郎、九州学院教諭 上妻博之、熊本県立人吉高等女学校教諭 前原勤次郎の三名である。田代は、かつて熊本師範学校で教鞭を執り、上妻と前原は同師範学校の卒業生であった。いずれも日本植物学の父と言われる牧野富太郎の指導を受けており、牧野と同様に一生を植物学に捧げ、数多くの新種の発見や優れた標本の作製、分類学上有用な著作の執筆などを功績として上げることができる。

また、一連の行事は、この後、熊本県下における博物学への関心を高めるきっかけとなり、上妻博之が創立した「聖駕奉迎博物採集動員記念採集会」(現 熊本記念植物採集会)は、1931年12月から現在まで、僅かな例外を除き、毎月観察会^{※2}を開催し、1,100回あまりを数えている。

※1 現在は、熊本県博物館ネットワークセンターとなっている。
※2 当初は植物採集会であったが、現在は植物観察会となっている。



上から：
田代 善太郎(写真：「田代善太郎日記」より)
上妻 博之(写真提供：熊本記念植物採集会)
前原 勤次郎(写真提供：熊本記念植物採集会)

[特集II] Special Feature

熊大のキャンパスライフ

～新入生サポーターに聞いてみた～

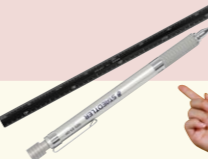
A CAMPUS LIFE in KUMAMOTO UNIV.

熊大生のリアルなキャンパスライフをのぞいてみたら、そこには学部や学年の壁を飛び越えた学生生活を応援してくれる熱いネットワークを発見！入学式の前から新入生をサポートしてくれる「新入生サポートセンター」で活躍する先輩2人に学生たちの心のオアシス「熊本大学生生活協同組合(以下生協)」の活用術を伝授してもらいましょう。

Goods:

学部の個性光る グッズはこれだ！

- 法学部／六法
- 医学部／白衣
- 薬学部／実験ノートや保護メガネ
- 工学部／製図グッズや模型素材



薬学部
創薬・生命薬科学科3年
吉野 真央
Mao YOSHINO

Foods:

アゲる元気ごはん 美味定番メニュー

- ロースカツカレー
- 坦々麺
- 選べる小鉢



工学部
土木建築学科4年
北川 雄貴
Yuki KITAGAWA

Sweets:

自分へのごほうび たっぷりスイーツ

- 大きなツインシュー
- チョコクレープ
- お楽しみ！お取り寄せスイーツ



Bread:

焼きたてはここだけ！ FORICO パンセレクト

- 牛すじカレーパン
- バタークロワッサン
- ピリ辛ウインナー
- ショコラロール



魅力あるキャンパスライフを応援 引越してから夢を叶えるお手伝いも おまかせ

熊本大学の3つのキャンパス(黒髪・本庄・大江キャンパス)には、それぞれ生協の店舗があります。黒髪キャンパス北地区にあるのが、「学生会館」と「くすの木会館」です。学生会館には、文具、書籍などがずらりと並びショップとカフェテリア食堂があり、生協のハブ的存在。

理・工学部がある黒髪キャンパス南地区でにぎわうのが「FORICO」。理工系の学生に必要な商品が充実しており、学食もボリューム満点のメニューが多いのだとか。

医学部がある本庄キャンパスには、おしゃれな「MEDICO」。国家試験対策に向けた参考書が充実し、学生をしっかりサポート。薬学部がある大江キャンパスの「蕃滋館」は、アットホームな雰囲気が魅力です。

住まいや留学に関する相談や手配など、さまざまなサービスで教職員や学生を手厚くサポートする生協。中でも生協の食堂を利用できる年間定期券「ミールカード」は、財布を気にせずバランスの良い食事をとれると人気です。

学生会館ショップ店長の橋上実穂さんは「住まい探しから旅行、資格試験対策講座など、大学生活を多彩にサポートしています。充実した暮らしの中でプラスアルファの経験を積んで、成長のきっかけをつかんでほしいですね」と話します。



熊本大学生協同組合
学生会館ショップ店長
橋上 実穂
Miho HASHIGAMI

受験が決まったらサポート開始! 誰よりも頼りになる先輩たち 新生入生サポーター

生協を案内してくれた北川さんと吉野さんは、共に「新生入生サポーター」として、住まいを探したり、学生生活に必要なパソコンや家電などの購入などをサポートしています。二人とも「一番不安な時期に寄り添ってくれた先輩への感謝の気持ちから、自分も後輩の役に立ちたい!」と、同じ思いでサポーターに。熊大を目指す皆さんは、安心して受験勉強をがんばってくださいね。



医学・保健学に関わるさまざまな学生・教職員が集う憩いの場



季節限定メニューもお楽しみ♪
沖縄そばも登場

お一人様カウンターもあり おしゃれなカフェテリア 楷樹会館MEDICO

レストランは、好みのメニューを選べるカフェテリア方式が人気。サイズも選べるので小食な方も安心。



蕃滋館ロビーは、アートな空間。誰でも自由に弾けるピアノもあり、思い思いに学生たちが集う

第二のお母さんのように 優しく包んでくれる 蕃滋館

生協スタッフと距離が近く、声を掛けてくれる。教職員も利用するので気軽に話す機会があるのも楽しい。



和洋中多彩なメニューがいっぱい



ボリュームたっぷりの主菜に豊富な小鉢を組み合わせると、野菜たっぷりヘルシー定食に



隠れた名物「鮭トロ丼」

おにぎり92円均一!

学生に必要なものが
なんでもそろそろ

学生会館食堂・ショップ

参考書から日用品まで学生会館に来るとなんでも入手可能。いろんな相談窓口もあるので、困ったらまずここへGO!



生協の組合員
になると
書籍はすべて
10%OFF!

- レストラン
- ショップ
- PC・家電購入
- 旅行・留学相談
- 住まい相談
- 自動車学校入校申込

黒髪キャンパス南地区の 人気メニュー、焼きたてのパンをどうぞ FORICO

ショップには、理・工学部ならではのツールが並ぶ。レストランはメニュー豊富、焼きたてのパンを買って、テイクアウトで食べるのもおすすめ。



広々としたレストランで食事を楽しんだら、ランチミーティングで盛り上がる

Kumadai-Coop Support:

運転免許・旅行・留学は 生協におまかせ!

新入生に向けた自動車学校のお得なプランや、国内外のパッケージツアー、語学留学などを窓口で手配可能。夢を叶えるお手伝いも!



公務員を目指す人を 試験対策講座で応援

開講22年目、熊本大学と生協が共催する学内実施の講座。国家公務員と地方公務員への道をサポート。

新生入生サポーターと探す 安全安心の住まい

実際に熊大周辺に暮らすサポーターの先輩が住まい探しを支援。受験時・合格前からお部屋探しの相談ができます。

アルバイト情報が多彩にそろそろ 学生生活の醍醐味を満喫

熊大生に来てほしいというアルバイト情報がたくさん掲示されています。ぜひチェックしよう!

ほかにも、
生協のサービスが
いっぱい!
ホームページは
こちら↓



<https://kyushu.seikyuu.ne.jp/kumamoto-u/>

GRADUATE JOURNAL

大学の卒業生たちの今に迫る「卒業生ジャーナル」。熊本県内はもとより、国内外で活躍している先輩たちの様子を、これまでの歩みや苦労そして喜び、楽しみなどを通じてご紹介します。



濱田 真己子

Makiko HAMADA

行政薬剤師の可能性に挑戦

高校時代に薬学部の先生の講演を聴いて「新しい治療法を開発したい!」と薬学部へ。4年生からは早朝から夜中までの研究室生活で研究職志望でしたが、「医療だけでなくより幅広い分野で人の役に立つ仕事が見たい」と新たな可能性を信じて行政薬剤師の道を選びました。

恩師の言葉を胸に前進

魅力的な恩師、先輩、後輩、そして友人に恵まれ、楽しくて充実した6年でした。「どこに行っても楽しさを見いだせるのが強みだ」という恩師の言葉は今も大きなモチベーションに。一つひとつの出会いや経験を大切に、学生生活を満喫してください!

- ▶ 熊本県健康福祉部健康局薬務衛生課(熊本県)
- ▶ 薬学部薬科学科/2007(平成19)年3月卒業、大学院薬学教育部博士前期課程/2009(平成21)年3月修了

Profile—
1983(昭和58)年生まれ、熊本県熊本市出身。熊本県立熊本高等学校卒業。趣味はおいしいものを探ること、休日に子どもと遊ぶこと。

やりたいことに没頭できる環境と卒業後も高め合える仲間と熊大で出逢えた

薬学系



米須 大樹

Hiroki KOMESU

熊本で診療放射線技師の道へ

大学卒業後は地元沖縄には帰らず、熊本県の急性期病院で診療放射線技師として働いております。今年で働き始めて5年目ですが、画像検査はもちろんのこと、最近は市民開発を通じたDX推進活動も行っています。

大学での学びが今の自分の後押しに

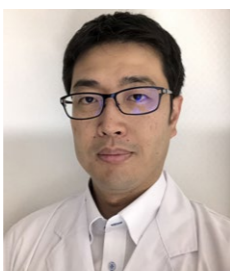
在学当時は意味を理解しきれなかった臨床実験も、臨床に出てその本質を理解しました。在学中に積み重ねてきた実験や実習がベースとなり、今の自分を後押ししていると身に染みて感じます。大学での学びに無駄はありませんので、限られた時間を有効に使いましょう。

- ▶ 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院(熊本県)
- ▶ 医学部保健学科放射線技術科学専攻/2019(平成31)年3月卒業

Profile—
1996(平成8)年生まれ、沖縄県宜野湾市出身。沖縄県立那覇国際高等学校卒業。趣味はテニス、ゴルフ、釣りなど。

保健学科キャンパスは市街地が近いので、大学も、プライベートも充実。

医学系



嶋田 裕史

Hiroshi SHIMADA

社会人大学生として再び研究室へ

熊大で学んだことを生かして故郷に貢献したいと考え、地元長崎県の公務員(警察技術職員)に。就職後は、職場の研修制度を利用して社会人大学院生(博士後期課程)として、出身研究室で再び学ぶ機会を得ることができました。

人生の財産を得た熊大での10年

学生として在籍した10年間学んだことに加えて、熊大で出会った恩師、先輩、後輩、友人は私の人生にとってかけがえのない財産です。この素晴らしい環境にある熊大で、社会で活躍するための礎を築いてください。

- ▶ 長崎県警察本部刑事部科学捜査研究所(長崎県)
- ▶ 工学部物質生命化学科/2007(平成19)年3月卒業、大学院自然科学研究科物質生命化学専攻(博士前期課程)/2009(平成21)年3月修了、大学院自然科学研究科産業創造工学専攻(博士後期課程、社会人)/2018(平成30)年3月修了

Profile—
1983(昭和58)年生まれ、長崎県諫早市出身。長崎県立諫早高等学校卒業。社会人15年目の現在、2児の父としてイクメン修行中。

豊かな自然に囲まれながら行われる最先端の研究・教育それが熊大の魅力!

工学系



住吉 光

Hikaru SUMIYOSHI

講義にきりり、人生の原点

アナウンサー兼記者として、日々取材に出て原稿を書き、番組で伝えるほか、イベントの司会やeスポーツなどさまざまな仕事をしています。この仕事のきっかけは、熊大の講義で水俣病被害者の話を聞いたことでした。「今も戦っている人の助けになりたい」と思った私の原点です。

熊大での出会いは一生もの

熊大では「人生は遠回りしても大丈夫」ということを学びました。高校卒業までは比較的順風満帆でしたが、熊大では一浪二留。全てが嫌になり中退も考えた時、支えてくれたのが担当ゼミの濱田先生と友人たちでした。大学での出会いは一生ものです。

- ▶ NBC長崎放送株式会社 アナウンサー・記者(長崎県)
- ▶ 法学部法学科/2016(平成28)年3月卒業

Profile—
1990(平成2)年生まれ、福岡県北九州市出身。福岡県立小倉高等学校卒業。中学・高校・熊大で吹奏楽部に所属しホルンを演奏。NBCでは夕方放送の番組「Pint」でニュースキャスターを担当。

熊大といえば、先生・学生ともに大らかで優しい人が多い!

法学系



出口 真輔

Shinsuke IDEGUCHI

天の川銀河の謎に迫る

中学時代に相対性理論に出合い天文学の道へ。卒業後は海外での研究生生活を経て、現在は国立天文台の天文学専用スーパーコンピュータの運用に携わり、我々の住む天の川銀河の磁場構造を明らかにするべく研究に奮闘中。

プライベート充実、研究にも没頭

入学早々ママチャリで阿蘇山山頂まで行ったのが良い思い出。部活や海外旅行も楽しむ一方、研究にも没頭。学内はもとより、国内外の大学・研究機関、最先端の研究者らとの議論や学会発表など刺激的で楽しい研究生生活を送りました。

- ▶ 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台天文シミュレーションプロジェクト(東京都)
- ▶ 理学部理学科/2010(平成22)年3月卒業、大学院自然科学研究科博士前期課程理学専攻/2012(平成24)年3月修了、大学院自然科学研究科博士後期課程理学専攻/2015(平成27)年3月修了

Profile—
1986(昭和61)年生まれ、長崎県五島市出身。学校法人長崎日本大学学園長崎日本大学高等学校卒業。趣味は食べること、ゲーム、トレイルランニング。

なんととっても熊大は他の大学よりも食堂が安くておいしい!

理学系



中村 百合香

Yurika NAKAMURA

多様な教育現場で深く学ぶ

主専攻では小学校教員養成課程を、副専攻では中学・高校家庭科教諭免許と幼稚園教諭免許を取得。教員採用試験は小学校教諭で採用され、現在は幼稚園に勤務しています。幼稚園、小学校の両方で働くことで、子どもの発達段階を深く学ぶ貴重な経験をさせていただいています。

大学時代の多彩な経験が大切

小学生の頃から「小学校の先生になりたい」と願う一方、アパレル業界への憧れも芽生え、在学時にはアルバイトに尽力。当時の接客経験も現在のコミュニケーション力の礎となっており、大学時代に培う経験の大切さを感じています。

- ▶ 熊本大学教育学部附属幼稚園(熊本県)
- ▶ 教育学部小学校教員養成課程(家庭)/2006(平成18)年3月卒業

Profile—
1983(昭和58)年生まれ、熊本県熊本市出身。熊本県立熊本高等学校卒業。趣味は買い物やグルメ。学生時代には、ショッピングや塾でアルバイトに励んだり、友達と出掛けて楽しく過ごしました。

熊本大学附属幼稚園で働き、大学時代の恩師に再会母校に貢献できる喜び

教育系

「肝がんゼロを目指して」街頭キャンペーンを開催します！

7月28日は「世界・日本肝炎デー」です。肝疾患の早期発見・早期治療のため、無料の肝炎ウイルス検査や相談対応などの啓発イベントへ参加しませんか？

- 日時／7月23日(日) 11:00～15:00
- 場所／熊本駅前広場 アミュひろば (熊本市西区春日2丁目7番)
- 参加対象者／一般の方、どなたでも
- ※事前申込不要 ※参加無料

【お問い合わせ】
熊本大学病院肝疾患センター
Tel.096-372-1371



E-mail kanzo.kumadai@gmail.com
URL https://gastro-kumamoto-u.com/liver_d_top

2023年度 肝がん撲滅運動 一般社団法人日本肝臓学会主催
「肝がんゼロを目指して」街頭キャンペーン

あなたの肝臓大丈夫？

正常 脂肪肝 アルコール性肝障害 肝硬変

日時 2023年7月23日(日) 11:00～15:00

場所 アミュひろば (熊本駅前広場) **50名限定**

内容

- 無料肝炎ウイルス検査
- ※検査結果は後日になります。
- ※検査料を差し引いた無料検査です。
- 詳細専門医による無料相談
- 肝疾患のパネル展示
- 血圧年齢測定

熊本大学病院肝疾患センター ☎ 096-372-1371

共催：熊本県 熊本県肝疾患診療連携拠点病院 (熊本大学病院) 一般社団法人熊本県肝臓病医療連携機構

13:30ごろ
くまモン隊
参加予定！

「肝がんゼロを目指して」市民公開講座

脂肪肝、ウイルス性肝炎、肝硬変、肝がんについての病態から治療法まで、最新の情報を一般市民の方に分かりやすく講演します。県内6会場で同時開催！

2023年度 肝がん撲滅運動 一般社団法人日本肝臓学会主催

市民公開講座 参加無料

●見逃してはいけない脂肪肝とは？
●知って得する肝炎・肝がん治療の今！

2023年 **7/30日**
10:00～12:00
※講演後、相談コーナーを設けます。

<p>くまもと県北病院</p> <p>〒860-0801 熊本市北区 102984-71-0000</p> <p>講師 藤野 隆子 熊本大学病院 肝疾患センター 部長 協賛 北太郎 氏</p>	<p>山鹿市民医療センター</p> <p>(医療研修センター) 山鹿市山鹿 102964-84-2100</p> <p>講師 野田 浩一 山鹿市民医療センター 部長 協賛 長岡 英寿 氏</p>
<p>くまもと森都心プラザ</p> <p>(会議室) 熊本市中央区 102964-05-5900</p> <p>講師 藤野 隆子 熊本大学病院 肝疾患センター 部長 協賛 藤野 隆子 氏</p>	<p>熊本労災病院</p> <p>(大会議室) 八代市八代 102964-23-4101</p> <p>講師 藤野 隆子 熊本大学病院 肝疾患センター 部長 協賛 藤野 隆子 氏</p>
<p>天草市民センター</p> <p>(大会議室) 天草市天草 102964-22-4121</p> <p>講師 藤野 隆子 熊本大学病院 肝疾患センター 部長 協賛 藤野 隆子 氏</p>	<p>人吉医療センター</p> <p>(大会議室) 人吉市人吉 102964-22-2111</p> <p>講師 藤野 隆子 熊本大学病院 肝疾患センター 部長 協賛 藤野 隆子 氏</p>

TEL 096-372-1371 MAIL kanzo.kumadai@gmail.com

- 日時／7月30日(日) 10:00～12:00
- ※下記6会場にて同日同時刻に開催
- 場所／くまもと県北病院(たまきなホール)、山鹿市民医療センター(医療研修センター)、くまもと森都心プラザ(会議室AB)、熊本労災病院(大会議室)、天草市民センター(大会議室)、人吉医療センター(講堂)
- 参加対象者／一般の方、どなたでも
- ※事前申込必要／電話またはメール 各会場定員になり次第締め切ります
- ※参加無料

【お申し込み・お問い合わせ】
熊本大学病院肝疾患センター
Tel.096-372-1371



E-mail kanzo.kumadai@gmail.com
URL https://gastro-kumamoto-u.com/liver_d_top

日本遺伝学会第95回大会 公開市民講座「宇宙環境と遺伝」

宇宙マウスを利用した研究を中心とした講演会と、ハダカデバネズミの見学など6つのコーナーを回る体験講座の2部構成で開催するオンサイト&オンラインイベントです。日本遺伝学会第95回大会(9月6～8日、くまもと県民交流館パレアにて開催)を受けて、最終日翌日に本学で開催します。

- 日時／9月9日(土) 13:00～17:00
- 場所／熊本大学 本荘キャンパス内
- 参加対象者／中学生以上の一般市民
- ※事前申込必要、日本遺伝学会第95回大会ウェブサイトからのオンライン登録
- ※参加無料

【お問い合わせ】
日本遺伝学会第95回大会
事務局 荒木 正健



E-mail maraki@gpo.kumamoto-u.ac.jp
日本遺伝学会第95回大会HP
URL https://gsj95.secand.net/index.html
宇宙マウスのページ
URL https://www.youtube.com/watch?v=DeR01Ec4Dk

日本遺伝学会 第95回大会

95th Annual Meeting of the Genetics Society of Japan【熊本】

会期 令和5年9月6日(水)～8日(金)

会場 くまもと県民交流館パレア 9F・10F

大会委員長 荒木 正健
大会副委員長 石原 啓一郎
事務局長 荒木 正健

公開市民講座
日時 令和5年9月9日(土)
場所 熊本大学 本荘キャンパス
『宇宙環境と遺伝』

共催 一般社団法人日本遺伝学会 日本遺伝学会

https://gsj95.secand.net

買って、遊んで、応援しよう！ 子飼商店街百円笑店街



本学法学部・高木 康衣准教授の教養教育科目を受講する学生たちが子飼商店街の活性化に取り組んでいます。3カ月に一度開催される「百円笑店街」は、店舗選りすぐりの100円商品が並ぶ人気のイベント。学生たちはキッズコーナーで楽しい催しを企画し、商店街を盛り上げます。大人も子どもも、大満足！買ってお得、遊んで楽しい百円笑店街へ行ってみませんか？

- 日時／3カ月に1回(3月・6月・9月・12月の第1土曜)開催。「日夜祭」も開催しています。(次回7月開催予定)
- ※詳細は、右記ウェブサイトをご確認ください。
- 場所／子飼商店街 (熊本市中央区西子飼町)

熊薬は街角のオアシス 薬草園散策に出掛けよう！

本学薬学部では「薬草パーク構想」を掲げ、地域の皆さんに開放しています。自然豊かな大江キャンパスと多種多様な薬用植物を守り育てている薬用植物園でのんびりと散策を楽しめるほか、事前に予約すると「熊本大学薬草ミュージアム」も見学できます。「日本一美しいキャンパスにしよう」と取り組んでいる熊薬の散策に出掛けてみませんか？



- 日時／月～金曜 10:00～16:00
- 場所／熊本大学薬学部(大江キャンパス)

デジタルサイエンスの拠点開設 半導体・デジタル研究教育機構

熊本大学は、「デジタル化に対応したイノベーション人材の育成」および地域における喫緊の課題である「半導体人材育成」に対応するため、「半導体・デジタル研究教育機構」を設置しました。去る4月1日に熊本大学工学部百周年記念館で行われた開所式には、蒲島 都夫熊本県知事をはじめ、およそ70名が出席し、式典後には黒髪総合研究棟に新設された「クリーンルーム」などを見学しました。小川 久雄学長は「半導体関連の技術者不足が大きな課題となっている。高度専門技術者育成に尽力し、地域経済の発展に貢献したい」とその思いを語りました。

熊本大学は、「デジタル化に対応したイノベーション人材の育成」および地域における喫緊の課題である「半導体人材育成」に対応するため、「半導体・デジタル研究教育機構」を設置しました。去る4月1日に熊本大学工学部百周年記念館で行われた開所式には、蒲島 都夫熊本県知事をはじめ、およそ70名が出席し、式典後には黒髪総合研究棟に新設された「クリーンルーム」などを見学しました。小川 久雄学長は「半導体関連の技術者不足が大きな課題となっている。高度専門技術者育成に尽力し、地域経済の発展に貢献したい」とその思いを語りました。



- 参加対象者／どなたでも ※参加無料

【お問い合わせ】子飼商店街
URL https://www.kokai-s.com/
※上記ウェブサイトの お問い合わせフォームよりご連絡ください。



地域の法と公共政策 教育研究センターの 成果報告会を開催しました



3月22日、本学法学部附属「地域の法と公共政策教育研究センター」(通称エルベルク)は、開設1年を記念して「令和4年度成果報告会」を開催しました。本センターは、本学法学部が熊本の社会的課題に組織として取り組むための拠点として、2022年4月に設置されたものです。報告会には、熊本県内の行政機関、土業団体、メディア関係などさまざまな職域より多くの方が参加しました。大日方 信春センター長より設置意図や2部門の成果について報告後、活発な意見交換が行われました。熊本の社会科学の拠点となることを目指して、本学法学部の学術的資源の提供等の推進に向けた意義深い報告会となりました。

- 対象者／どなたでも
- ※「薬草ミュージアム伝統薬資料室」は事前予約必要
- ※見学無料

【お問い合わせ】
熊本大学大学院生命科学部附属
グローバル天然物科学研究センター
薬用植物園(担当:渡邊 将人)



E-mail (推奨) wata-m@tech.kumamoto-u.ac.jp
Tel. 096-371-4737
URL https://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/gcnrs/facility/medicinal_plant_garden/index.html

医学教育部初の ダブルディグリー取得

3月25日に卒業式・学位授与式が施行され、Ubonrat Thamrongwarangoonさんが、本学医学教育部初のダブルディグリーを取得し、山縣 和也医学教育部長から学位記が授与されました。ダブルディグリープログラム(DDP)は、博士課程において2つの大学に同時に所属して研究・教育を行い、両大学の学位取得基準を満たした場合に両大学の学位とDDP証書を授与されるシステムです。医学教育部では2016年以降タイの主要大学(マヒドン大学・コンケン大学・チェンマイ大学等)とDDP協定を締結し、現在7名の大学院生が学んでいます。



タイ王国 メーファルアン大学長の 表敬訪問



4月10日、タイ王国のメーファルアン大学 Chayaporn Wattanasiri学長、副学長、医学部長ら5名が、小川学長を表敬訪問しました。メーファルアン大学は1998年設立の新しい大学で、本学とは2016年に生命科学系を中心に交流が始まり、2020年に大学間交流協定を締結しました。同大学は、「THE*世界大学ランキング」で2019年から

5年連続でタイ国内同列1位にランクイン！タイで最もキャンパスが美しいといわれる大学であり、ほとんどの講義が英語で行われる国際的な大学として知られています。今後の交流発展の可能性や協力関係について、和やかな雰囲気でもてなされました。

*THE(Times Higher Education)・・・イギリスの高等教育専門誌

世界初！「分裂酵母Kumadai-M42 株」 吟醸香クラフトビール 即日完売！

本学大学院先端科学研究部(理学系)(現:同研究部附属生物環境農学国際研究センター特任教授および放送大学熊本学習センター所長)の谷 時雄教授らの研究グループが「分裂酵母Kumadai-M42 株」を新たに開発し、これを使用した世界初の吟醸香クラフトビール(製造元:株式会社ダイヤモンドブルーイング)を本年4月3日に熊本大学生協同組合で販売しました。ラベルデザインは、本学教育学部中学校教員養成課程美術科の梅木 久美日さんが描いたもので、クラフトビールの泡が弾けるイメージに本学の校旗のカラーである紫紺とうこんを使った色鮮やかな作品です。このクラフトビールは限定400本で販売し、大好評のうちに即日完売しました。



本誌1~2ページ&
アンケートハガキ参照
分裂酵母
Kumadai-M42 株
吟醸香クラフトビール
などを抽選で8名様に
プレゼント！

熊大の学生55名が結集！ 4年ぶりに復活「清正公まつり」

肥後熊本藩主・加藤 清正公を祭る加藤神社へ神輿を奉納する伝統の「清正公まつり」。4月23日、コロナ禍を経て4年ぶりに復活！本学薬学部の学生を中心に結成された学生団体「剛毅会」は、約30年前からこの祭りに参加しており、今年は55人もの学生が集まり、祭りを盛り上げました。学生代表の荒巻 洸晟さんは「伝統の祭りに多くの学生と参加できてうれしいです。地域の皆さんにももちろん、集まってくれた仲間にも感謝の気持ちを伝えたいですね」と語りました。



熊本大学基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。 No.62(令和5年2月1日～令和5年4月30日)

皆様から、これまでに約18億768万円(令和5年4月30日現在)のご寄附をいただき、研究・教育に資する事業に取り組みさせていただきました。熊本大学基金に対しまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今号では、令和5年2月1日から4月30日までの間に入金を確認させていただきました個人69名、10法人・団体のすべての寄附者の皆様へ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。公開を希望されない方につきましては、掲載しておりません。

また、万一お名前に記載漏れがある場合は、誠に恐縮ではございますが、基金事務局(電話:096-342-2029)までご連絡ください。

皆様のさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. お名前・寄附金額の掲載

(寄附金額別、五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※()内の数字は、累計寄附金額(万円)です。

【100万円】 黒木 政秀(500)
【10万円】 中元 啓夫(10) 宮尾 千加子(30)
【7万1千円】 熊本県女性薬剤師会(34.7)
【5万円以下】 徳永 司(5) 藤村 重利(7) 宮本 真次(7.5)

2. お名前のみ掲載

(五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※[]内の数字は、累計寄附回数(回目)です。

荒井 澄子[10]	大井 浩史[5]	大迫 聖子[3]
神山 憲次郎[5]	草野 龍二[16]	児倉 静二[14]
斉藤 和人[4]	堺 由香里	XIE BINGXIN
鈴木 妙子[3]	角 敬太	辻村 睦子
鳥居 建夫[6]	波多野 恭行[27]	馬場 秀夫[19]
福岡 純子[2]	安永 澄男[7]	山本 政幸[4]
渡辺 清吉[6]	一般財団法人恵和会[7]	医療法人杉村会[2]
熊本大学工業会山口支部	熊本大学同窓会連合会	

3. お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人41名、5法人・団体

基金の取り組み事項については、基金ウェブサイトに掲載しております。

熊本大学基金ウェブサイト

URL <https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/>

熊本大学基金 🔍



1651年の密偵の報告書を発見 初期薩摩藩政の実像が明らかに

熊本大学永青文庫研究センターは、1651年に熊本藩細川家から薩摩に派遣された密偵の報告書18カ条の原本を発見。5月18日に原口 泉氏(志學館大学教授、鹿児島大学名誉教授)との共同記者発表を行いました。今後の熊本と鹿児島共同研究の進展により、初期鹿児島藩政に関する具体像の解明などが期待されます。



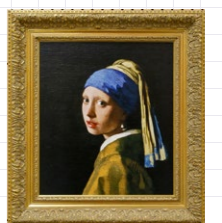
フェルメール全37作品を展示 アート&サイエンスの空間を体感



本学薬学部では、17世紀のオランダ絵画黄金期を代表する画家の一人に挙げられるヨハネス・フェルメールの全37作品をリ・クリエイト*で一堂に展示しています。5月19日、本学教育学部・松永 拓己研究室の学生たちが鑑賞に訪れ、甲斐 広文名誉教授の案内で、原寸大の迫力と再現されたカンパ

スの質感など、フェルメールの光と影の世界を体感しました。「アートは鑑賞する人の自由な解釈が許されるもの。語り合うことで自ら感覚を高めていく楽しみを味わってほしい」と松永教授は語ります。

*リ・クリエイトとは、最新のデジタルリマスタリング技術によって、描かれた当時の色調とテクスチャーを求めて、原寸大で、鮮やかに再現した作品





キャンパス ミュージアム散策

絵・文 / 松永 拓己

大学院教育学研究科
教授・芸術家

肥後医育ミュージアム

熊本市中央区本荘2-2-1 肥後醫育記念館2F
Tel.096-373-5426 入館無料

※どなたでも見学できます

開館 / 月～金曜10:00～17:00(土・日曜、祝日、本学夏季一斉休業の期間等は休館)

交通機関 / バスをご利用の場合、「大学病院前」バス停下車徒歩1分

*熊本大学病院にお越しの際には、正門の横断歩道を渡り、すぐ左手側に見える建物にてご覧ください。

*イラスト画は「肥後醫育史」写真を参考資料として制作。向かって右側が、若き日の北里柴三郎、左側がマンスフェルト像である

いまだ何者でもない 北里柴三郎に出会う

熊本大学内の小道をゆく。

「熊本大学病院」の正門の道路を隔てたすぐの所に、「肥後医育ミュージアム」がある。ここで、いまだ何者でもない北里柴三郎に出会った。

「古城医学校」の先生と生徒たちの集合写真が目に入る。

その中心にはオランダの海軍軍医であったマンスフェルト先生がいる。その左手に朴訥な青年を見る。若き日の北里柴三郎である。20歳ごろの写真だろうか、小国から出てきて医学の道を志したばかりの姿である。遠い強い瞳が印象的である。のちに偉業を成すその若き瞳は何を見つめていたであろうか。いまだ何者でもない柴三郎の姿に見入った。

肥後医育ミュージアムに入ると、熊本大学医学部の第1回卒業生から現在まですべての卒業生の名前が記された壁が出迎える。圧倒される。ここに立つと医学への自覚と、いまだ何者でもない自らがすべきことを自問させられる。自らができることはなんであろうか。北里のように病に苦しむ人々を救うべく思いが奮い立つであろう凄みがある。

ここには熊本大学医学部の前身である「再春館」(1756(宝暦6)年設立)から携わった人々と文物の歴史の記録が展示されている。

